

ISSN 1341-4232

CODEN:KEKNDS

京都府保健環境研究所年報

平成22年度

第 56 号

Annual Report of Kyoto Prefectural Institute of
Public Health and Environment

No.56 (2011)



京都府保健環境研究所

平成 22 年度年報発刊にあたって

絶えまない技術革新は、利便性に優れ豊かな社会を実現してきました。しかし、そのような高度科学技術社会にあっても、様々な分野において急速に拡大してきた人間活動、それらと期を一にして生じてきた地球温暖化や生物多様性の減少といった環境変化の中で、大小の健康被害事象が顕在化し続けています。感染症を例にとっても、昨年 4 月には牛口蹄疫が宮崎県で発生し、そして昨年末から今年 2 月には各地で高病原性鳥インフルエンザが家禽において流行し、畜産農家は大きな被害を蒙りました。そして今年 3 月 11 日、第二次世界大戦後の日本最大の危機ともいわれる東日本大震災が発生しましたが、その復旧がまだ緒についたばかりの 5 月には、ドイツを中心に enteroaggregative *E. coli* O104:H4 感染症の大流行が生じ、7 月 22 日までに 4,075 例に達する感染者と 50 例の死亡者が出ました (N Engl J Med. 2011 Jul 27)。偶然にも同時期、日本においても生肉の喫食を原因とする腸管出血性大腸菌感染症のアウトブレイクが生じ、4 人の死亡者が出ました。

急性症状を発現し、しばしば死亡者も出る感染症と比較して、食品、水、大気等の有害化学物質の汚染による大規模な急性健康被害は、規制の行き届いた現在の日本では次第にまれなものとなって来ています。しかし、健康に対する長期的な影響という視点からみると、有害化学物質の低濃度、長期間暴露による健康への影響は評価も予測も困難なことが少なくありません。今最大の課題の 1 つとなっている、東日本大震災に伴って生じた福島第一原子力発電所事故に由来する、環境や食品の放射性物質汚染問題はこのことを象徴的に表しているといえます。さらには、輸入感染症の増加、輸入食品の安全性問題、越境大気汚染問題等からも明らかなように、京都という 1 地域、日本という 1 国に止まらず、世界全体を視野に入れた監視が必要となってきました。これらに伴い、監視しなければならない病原体や有害物質の種類は増加し続けています。

当研究所に課せられた第 1 の使命は、各種の健康被害の原因となる病原体や、食品・環境中の有害物質の同定・監視であることはいまでもありません。しかし、人材も予算も限られた中で、増え続ける検査項目の全てを常時監視することには限界があり、これらをどのように整理し、効率的、効果的かつ時期を得て監視を進めていくかが、今後の大きな課題であるといえるでしょう。また今、「風評被害」という言葉を毎日のように耳にします。風評被害は、自ら考え行動する力の不足とは簡単に割り切れず、説明する側の説明力の不足も大きな要因になると考えられます。当所としても、得られた結果の健康に対する影響を、論理的・科学的に説得力を持って説明するための十分な力を養い続けなければならないと考えています。

最後になりましたが、当年報には、細菌・ウイルス、食品、環境衛生、水、大気等に関し、平成 22 年度に当所で実施された行政検査・調査研究の報告が収録されています。ご批判をいただきますとともに、当所に対するご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

平成 23 年 8 月

京都府保健環境研究所長 有 菌 直 樹

目 次

総説

- 1 アニサキスとアニサキス症－その現状と課題－…………… 1
有菌 直樹

調査研究

- 1 京都府における呼吸器感染症を中心としたヒトメタニューモウイルス、RSウイルスの検出…………… 7
木上 照子、鳥居 潤、塚本 智子、石崎 徹、柳瀬 杉夫
- 2 京都府における感染症流行予測調査事業（2010年）
－インフルエンザ感受性調査、麻しん及び風しん感受性調査－…………… 13
鳥居 潤、石崎 徹、木上 照子、柳瀬 杉夫
- 3 京都府内で分離された腸管出血性大腸菌 O157:H7 株のクレード解析に関する調査…………… 18
浅井 紀夫、中嶋 智子、杉浦 伸明、柳瀬 杉夫、伊豫田 淳
- 4 動物愛護管理センターで飼育されているイヌのレプトスピラ属菌保有調査について…………… 22
浅井 紀夫、中嶋 智子、杉浦伸明、柳瀬 杉夫、神村 孝
- 5 2010年感染症発生動向調査－ウイルス検出情報－…………… 26
木上 照子、鳥居 潤、塚本智子、石崎 徹、柳瀬 杉夫
- 6 2010年感染症発生動向調査（患者発生動向）－全数把握感染症－…………… 32
中嶋 智子、奥村 真友美、柳瀬 杉夫
- 7 2010年感染症発生動向調査（患者発生動向）－定点把握感染症－…………… 41
中嶋 智子、奥村 真友美、柳瀬 杉夫
- 8 京都府におけるマーケットバスケット調査方式による食品残留農薬等一日摂取量実態調査（平成 22 年度）… 47
大藤 升美、大脇 成義、松本 洋亘、茶谷 祐行
- 9 農産物中の残留農薬の検査結果－平成 22 年度－…………… 53
松本 洋亘、大藤 升美、土田 貴正、大脇 成義、鳥居南 豊、野澤 真里奈、太田 浩子、茶谷 祐行
- 10 京都市内アルゼンチンアリ侵入定着地での単位時間採集法によるアリ類の定点調査…………… 59
中嶋 智子、日下 哲也、関 誠一、鶴鷹 圭三、宮尻 久美、山田 豊、片山 哲郎、
伊藤 良彦、川原崎 功
- 11 京都府における重油中の硫黄分含有率調査（2006-2010）…………… 62
渡辺 哲也、山本 武、藤波 直人
- 12 丹後地域における SO₂、SPM 高濃度事例の検討－平成 21 年 9 月から平成 22 年 8 月について－…………… 65
高倉 尚枝、谷口 延子、平澤 幸代、辻 昭博、日置 正、藤波 直人
- 13 京都府内の河川における有機フッ素化合物の実態について…………… 72
近藤 博文、蒲 敏幸、田口 寛
- 14 水道水質検査機関を対象とした分析精度管理調査結果－平成 22 年度、臭素酸とハロ酢酸類－…………… 77
宇野 玲子、近藤 博文、田口 寛
- 15 京都府沿岸域等における水温上昇の検討…………… 80
田口 寛、辻 厚男
- 16 ヘッドスペース－ガスクロマトグラフ質量分析法による塩化ビニルモノマーの分析…………… 86
田口 寛

- 他誌発表、学会等発表…………… 91

Contents

(Review)

- 1 **Anisakis and Anisakiasis: Current Status and Challenges** 1
Naoki ARIZONO

(Research Papers and Materials)

- 1 **Detection of Human Metapneumovirus and Respiratory Syncytial Virus from Mainly Respiratory Infections in Kyoto Prefecture** 7
Teruko KIGAMI Jun TORII Tomoko TSUKAMOTO Tohru ISHIZAKI Sugio YANASE
- 2 **Epidemiological Surveillance of Vaccine Preventable Diseases in Kyoto Prefecture, 2010** 13
Jun TORII Tohru ISHIZAKI Teruko KIGAMI Sugio YANASE
- 3 **Surveillance of Genetic Clades of *Escherichia coli* O157: H7 Isolated from People in Kyoto Prefecture** 18
Norio ASAI Satoko NAKAJIMA Nobuaki SUGIURA Sugio YANASE Sunao IYODA
- 4 **Surveillance of *Leptospira* Infection in Dogs at Kyoto Prefectural Animal Protection Manegament Center** 22
Norio ASAI Satoko NAKAJIMA Nobuaki SUGIURA Sugio YANASE Takashi KAMIMURA
- 5 **Epidemiological Surveillance of Infectious Disease (2010) –Infectious Viral Agents Surveillance Report in Kyoto** 26
Teruko KIGAMI Jun TORII Tomoko TSUKAMOTO Tohru ISHIZAKI Sugio YANASE
- 6 **Annual Surveillance Report of Notifiable Infectious Diseases in Kyoto Prefecture (2010)** 32
Satoko NAKAJIMA Mayumi OKUMURA Sugio YANASE
- 7 **Annual Report of Infectious Disease Surveillance from Sentinel Hospitals in Kyoto Prefecture, 2010** 41
Satoko NAKAJIMA Mayumi OKUMURA Sugio YANASE
- 8 **The Market Basket Survey on the Daily Intake of Pesticide Residues in Food and Drink in Kyoto Prefecture, 2010** 47
Masumi OHFUJI Shigeyoshi OWAKI Hironobu MATSUMOTO Yoshiyuki CHATANI
- 9 **Survey of Pesticide Residues in Agricultural Products (Apr.2010-Mar.2011)** 53
Hironobu MATSUMOTO Masumi OHFUJI Takamasa TSUCHIDA Shigeyoshi OWAKI Yutaka TORIIMINAMI Marina NOZAWA Hiroko OHTA Yoshiyuki CHATANI
- 10 **Seasonal Prevalence of Ant Fauna Using Time Unit Sampling Method at Invasion Area of Argentine ant, *Linepithema humile* (Mayr, 1868), in Kyoto City** 59
Satoko NAKAJIMA Tetsuya KUSAKA Seiichi SEKI Keizo UTAKA Kumi MIYAJIRI Yutaka YAMADA Tetsuro KATAYAMA Yoshihiko ITO Isao KAWARASAKI
- 11 **Surveys of Sulfur Content in Heavy Oil in Kyoto Prefecture (2006-2010)** 62
Tetsuya WATANABE Takeshi YAMAMOTO Naoto FUJINAMI
- 12 **A Study of Incidents with High Concentration of SO₂ and SPM in Tango Area from Sep. 2009 to Aug. 2010** 65
Naoe TAKAKURA Nobuko TANIGUCHI Yukiyo HIRASAWA Akihiro TSUJI Tadashi HIOK Naoto FUJINAMI
- 13 **A Servey of Perfluorinated Organic Compounds in the Rivers of Kyoto Prefecture** 72
Hirofumi KONDO Toshiyuki KABA Hiroshi TAGUCHI
- 14 **Interlaboratory Quality Assurance of Tap Water Chemical Analyses,2010 – Bromic Acid and Halogenated Acetic Acids** 77
Reiko UNO Hirohumi KONDO Hiroshi TAGUCHI
- 15 **A Trend Analysis of Water Temperature on the Coast of Kyoto Prefecture** 80
Hiroshi TAGUCHI Atsuo TSUJI
- 16 **Determination of Vinyl Chloride Monomer by Headspace Gas Chromatography Mass Spectrometry** 86
Hiroshi TAGUCHI